

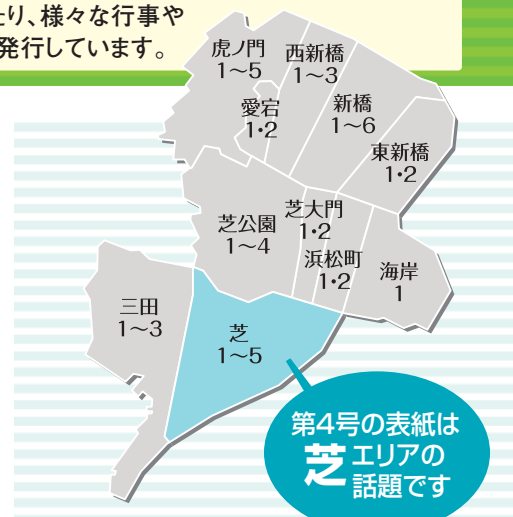
第4号

平成19年  
5月20日発行

# 芝地区地域情報誌

発行元  
港区  
芝地区総合支所  
地区政策課

『芝地区地域情報誌』は、地域の皆さんとともに創る情報誌です。芝地区の「いい話」を紹介したり、様々な行事や活動の情報を交換したり、地域の皆さんと一緒に地域のことを考えていく場として、地域情報誌を発行しています。



## 蔵稲荷

ここは、芝三丁目8番、江戸時代から芝松本町と呼ばれた一角の薩摩藩の蔵屋敷があったところ。その守護神として祀られたもので、「蔵稲荷」と呼ばれています。町なかにあった柳稲荷（現芝二丁目）と対照的に、通りを挟んで武家屋敷内にあったので、当時の町人に知られていなかったようです。そのため、史料にもあまり記録が残っていません。昔、そばに大きな銀杏の木があったことから「銀杏稲荷」とも呼ばれています。周辺が整備され高層ビルが建つと同時に、石段、鳥居なども一新されました。街並みが大きく変貌しても、昔と変わらず「まち」を守る稲荷なのです。

## 女性と仕事の未来館

目印は、  
この大きな  
オブジェです



JR田町駅西口から、札の辻交差点へ向かって約100mのところに「女性と仕事の未来館」があります。ここは平成12年1月に労働省（当時）が開設し、働く女性・働きたい女性をさまざまな角度から支援するための事業を総合的に展開しています。キャリアアップセミナー、起業セミナーなど各種のセミナー（講習会）が開催され、女性が働くことをめぐる悩みについての相談室もあり、バックアップ体制も充実しています。

また、開館以来力を入れている「働く女性のあゆみ展示」（3階）では、明治時代から現代まで女性たちが社会でどのように働き、暮らしてきたのか、当時の様子が模型や資料で詳しく展示されています。展示解説ボランティアによるわかりやすい解説が好評です。（要事前申込）授業の一環として見学に来る学校も多数。もちろん男性の見学者も大歓迎です。

年々蔵書が充実しているというライブラリー（2階）には、職業、資格、就職などに関する専門書が揃い、男女を問わず閲覧、貸し出しが可能です。



芝5-35-3  
TEL 03-5444-4151（代）  
URL <http://www.miraikan.go.jp>

★館長さんへの  
インタビュー記事を  
中面に掲載しています。

## 地域で作った 郷土資料室

〈芝小学校〉

生活スタイルの変化や家屋の建て替えなどで、使われなくなった昭和の道具たち。まだまだ現役で使える道具を役立ててほしい、大事にされてきたものを子どもたちに継承したいといったまちの人たちと学校の熱い思いから集まった道具が芝小学校にあります。「郷土資料室」と命名され、開校110周年を記念して昭和63年に開設されました。

井戸、鑊写版、剃刀研ぎ（＝ひげそりに付いた皮膚の脂を取る道具）、長火鉢、棹秤などが「火」「台所」「家の中」「店」「海」と使う場所ごとにコーナーにわけられ、港区の小学3年生の社会科「むかしの暮らし」の学習に使われています。七輪を使った「火おこし」は、実際に道具を使って体験できる貴重なものです。「郷土資料室」に集まった道具の使い方を説明した「昔の道具辞典」は、道具を寄贈していただいた方が中心となって作成されました。

この「郷土資料室」は学校が開いているときはいつでも、だれでも見学できます。地域に開かれているのは、芝小学校と地域が一体となって「子ども安全地域」を築いてきた成果でしょうか。登下校の際には地域の方からのあたたかい声かけがあります。また、学校敷地内に設置された「放課GO→しば」には、多くの児童が登録し、「放課GO→室」や校庭、体育館などを利用して放課後の時間などをのびのびと過ごしています。子どもたちが「安全で安心して過ごせる」地区にと学校と地域が協力している様子がうかがえます。

あたたかい地域のふれあいにつつまれている芝小学校「郷土資料室」です。



芝2-21-3 芝小学校内  
TEL 03-3456-3072

右：実際に使用していた井戸  
左：剃刀研ぎ。昔は理髪店で使われていました





# 5年に1度のお化粧直し♪ 美しさにますます磨きをかける東京タワー



1997年の作業風景。現在は、夜間に行われています



スクレーパー(左)と刷毛が  
お化粧道具です

5年に1度の周期で外観塗装の補修があり、今回はその9回目にあたります。約1年かけて、タワーの頭から始めて、そのつま先まできれいにしていきます。作業は午前1時頃から朝方までに限定されています。

まるで化粧するように、初めはスクレーパーで汚れをきれいに落とし、下塗り(ケレン・さび止め)、中塗り、上塗りの3工程で、すべて刷毛を使いベテランの職人さんたちによって、丁寧にペンキが塗られています。ペンキの色は航空法で定められた「インターナショナルオレンジ」と「白」のツートンカラーです。

タワーの美の裏側には職人さんの多大な配慮と技術があります。観光スポットであることはもとより、電波塔という大事な役割があるので、電波障害をおこさないように通常の足場を使用せずに、丸太やチェーンを材料とした足場を組み、安全ベルトを装着してペンキ缶と刷毛で作業をします。ペンキの飛散を防ぐために、風の抵抗の少ないネットで養生もします。いつも変わることのない東京タワーの美しさは多くの職人さんたちの手によって支えられています。

皆さんが眠っている間に東京タワーはそっと、おめかしをしてたくさんのお客様を出迎えるのを楽しみにしていることです。(桑原庸嘉子)



地球温暖化が叫ばれる昨今、環境問題は三田高校にとっても無視できない事柄です。今回はそんな思いに駆られ、エコについて取り組んでいる虎ノ門の近くにあるエコプラザに行ってきました。



港区立エコプラザ、ここでは毎日「ミニエコバザー」なるものが開かれていて、港区役所発行の「みんなとカード」を使って集めたポイントをバザー券と交換、それをまた商品と交換するというシステムになっています。商品はあきる野市特産の醤油やエコクレヨンなどさまざまなものが並びます。朝市エコバザーは、ポイントがなくても現金で商品が購入できるため、開催時には大勢の人が訪れる催しです。ここでは産地直送の新鮮野菜が目玉になっています。バザーの売り上げは、NPOアジア植林友好協会に熱帯雨林の植樹活動のために寄付され、平成18年度は苗木102本を購入し、年間約3トンの二酸化炭素が削減されるそうです。

エコプラザは現在約10年前に閉校になった小学校を利用して活動していますが、来年4月からは浜松町へ移転し、さらなる飛躍を遂げようとしています。代表者の方は、「政府に先駆け港区が率先して二酸化炭素を削減し、最終目標は二酸化炭素の排出量と吸収量を同じにする」と、熱く語ってくれました。これからの環境問題は、一人ひとりがどのように行動するかが焦点になっていることを、切に考えさせられた今回の取材でした。

(三田高等学校：嶋田康平／見月健一郎)

## 子どもたちの芸術がキラリ！

新橋児童館

新橋児童館を利用している小学2、3年生10名の子どもたちにお話を伺いました。内容は「地域の木枝を使った作品」についてです。この工作の誕生秘話をご紹介します。

皆さんは「子ども110番」をご存知ですか？ 地域住民や事業主が「子ども110番」協力者になり、子どもが身の危険を感じた時、協力者の住宅や事業所などが避難場所となります。

児童館の一人の子が、学校からの帰り道に「子ども110番」である木工店の前を通る時に手を振ると、お店の人も手を振り返してくれるという、なんとも微笑ましい関係にありました。先生(指導員)がそのことに気付き、これをキッカケとして木工店と児童館に交流ができたのです。ふとした日常の中にある人と人の繋がりは素晴らしいと感じました。

作品の材料は、芝公園で拾った枝と木工店から頂いた木材です。特殊な使用道具としては、焼きゴテもあります。

子どもたちの感想は、苦労した事より楽しかった事の方が大きいということでした。1ヶ月続けた工作が、もうすぐ終わると知らせた先生の言葉に対し、子どもたちは「まだやりたい」とプーイングをもらっていました。

作る際には「頭で作品を構成していた子」と「組み立てながら完成した子」の2パターンあり、いずれも、子どもらしい視点で、私たちは思い浮かべないようなアイデアが満載です！ 最初は、「小学生の作品だから…」と思っていたのですが、実は、私たちよりも頭が柔らかく、細かいところにも注意を払っていたので驚きました。

(芝商業高等学校：岡本佳緒/飯島美咲/阿部祥子/谷崎優子/小林孝葉)



しっぽが魅力的な子猫と木々に集まるカブトムシ(作品の一例です)



取材担当者(後列)と一緒に作品を持って

虎ノ門・エコプラザ



●みなと環境にやさしい事業者会議  
虎ノ門3-6-9エコプラザ内 TEL 03-6806-9280  
●港区環境課地球環境係 TEL 03-3578-2495



新橋6-4-2  
TEL 03-3433-4005

## 大使館で取材した郷土料理 ①



オランダ王国 Stampapot (スタンポット)

芝地区には、10の大使館があります。このコーナーでは、大使館の方々に教えて頂いたお国自慢の郷土料理を紹介していきます。初回は、オランダ王国大使館からStampapotです。

文化部長 教育担当官桑原マリアさんからお話を聞きました。オランダの人は、ジャガイモが大好きです。つぶすタイプのジャガイモ(kruimige aardappel)と形を残すタイプのジャガイモ(vastkokende)を料理によって使い分けます。

Stampapotは、つぶすタイプのジャガイモを使ったオランダの伝統的な料理です。オランダの食料品店には、温めるだけのインスタントもあるとか。でも、やはり手作りが一番ですね。

| 【材 料】(約4人前) |      |      |         |
|-------------|------|------|---------|
| ジャガイモ       | 1kg  | 塩    | 小さじ2〜3杯 |
| にんじん        | 500g | バター  | 少々      |
| 青野菜         | 500g | チーズ  | 少々      |
|             |      | 牛乳   | 少々      |
|             |      | コショウ | 少々      |



### 【作り方】

- ①ジャガイモは皮をむき、粗くカットします。
  - ②にんじんは、皮をむき、やや細かくカットします。
  - ③なべに切ったジャガイモとにんじんとたっぷりの水を入れ、塩を加え、蓋をして中火で15分くらい茹でます。
  - ④ざるに空け、水気を切った後なべに戻し、刻んだ青野菜を加えマッシュアップします。
  - ⑤バターやチーズ、牛乳、コショウを加え、お好みの味に調えます。
- ※今回チーズはサラダ用スライスチーズを使用しました。

### 適当な青野菜

(葉もの)がなかったので、キャベツとサラダ菜を使ってみました。ソーセージや肉団子に乗せる食べ方が典型的ですが、これも手元になかったので、彩りにプチトマトを乗せてみました。見かけは、日本のポテトサラダにもよく似ていますが、青野菜のサクサク感、バターやチーズの風味も絶妙で、やはり異国の味がしました。(佐多直明)



## 日本で最初の婦人警官 その仕事とは…

やま なも と

～山名茂登さんにお聞きしました～

昭和21年3月18日、GHQ(連合国軍最高司令官総司令部)の指導により、警視庁に初めて女性の警察官が採用されました。1500人を超える応募者の中から、63名が試験に合格。山名茂登さん(芝3丁目在住)はそのうちの1人です。当時のお話を伺いました。

――応募のきっかけは何だったのでしょうか。

長野県松本市に疎開していたのですが、父はこちら(東京)に残って町会長などをやっていたし、疎開先に別に住む考えはなく早く帰りたいだったので、就職先を探すために、お世話になっていた方に就職先を探してもらいに行きました。たまたま机の上に置いてあった毎日新聞の婦人警官募集の記事を見て、たちまち応募する気になったのです。採用されてから、当時の愛宕警察署の隣に「警察練習所」というのがあって、そこは3ヶ月間通い勉強させられました。

――実際にはどのような仕事をしていたのでしょうか。

婦人警察官の一期生は、初めは全員警視庁の交通課に配属されました。アメリカの指示(当時はアメリカの占領下にあつた)で、交通規則が「車は左側、人は右側通行」と変わった時だったので、その指導にかかわり手製の紙芝居や童謡の替え歌を作って、東京の端

から端まで指導に行きました。その後各部課に分かれました。私は衛生係(今の保健所)に配属され、所属の獣医さんと一緒にデパートの食堂などの調理室に検査などに行ったこともありました。その後、当時新設された青少年課の所属になりました。上野などの盛り場で大人に交じって暮らしていた戦災孤児たちが、お台場の砲台跡に造られた施設に保護(町なかではすぐ逃げた)されている所に母親代わり定期的に慰問に行く他の部署の人たちと一緒に went 行ったりもしました。

――女性の警察官ということで、注目されることはありましたか。

それはありましたね。GHQの指示で婦人警察官を採用したものの、どう扱ってよいのか戸惑いがあつたのでしょう。私は、3年で辞めたので、その混乱期だけいわけで、結構皆で能書きを言ったりして楽しかった…。



取材  
余話

山名さんが、増上寺を通るたびに思い出話があります。  
「増上寺に焼夷弾が落ちた時には、愛宕の警察練習所にいた警察官の卵たちが山門を守ったと、直接指揮をした練習所の先生から聞きました。記録にも残って



「練習期間中、男性は愛宕の警察練習所で寮生活をしていました」  
(採用時の記念集合写真より)

(制服の写真を見ながら)制服は、オーダーメイドで、夏服も作って頂きました。生地が「スフ」だったので一度洗ったら型が崩れてしまい、格好を付けるのが大変でした。初めて制服を着て通勤すると、珍しいので一斉に注目を浴びてしまいコチコチになって、自分で自分の体が思うように動かなかった思い出もあります。そのうち通勤は私服でできるようになり、ほっとしたものです。

いけません、知られていません。また、第六高女(現：三田高校)に通っていましたが、増上寺で行われる静寛院宮(皇太后宮)の命日の式には、生徒が参列していました。山名さんは懐かしそうに、当時歌ったという歌も披露してくれました。



## 「働くこと」って、権利!?

～女性と仕事の未来館 渥美雅子館長にお聞きしました～



「ワーキングプア…確かに、働いても生活できるほどの給料をもらっていないと思われる人も多いようです。働く女性の3分の2が年収300万円以下ともいわれ、年収100万円以下というケースもあります」とは、女性と仕事の未来館の渥美雅子館長のお話です。

ところで、日本国憲法では「勤労の権利を有し、義務を負ふ」とし、働くことは「権利」とであると宣言しています。『働く権利』とはどういうことが聞いてみました。

「権利の内容は時代によって変わるものです。『女工哀史』の時代も含めて長い歴史の中で働く権利の内容も形づくられてきました。単にお金をもらって最低限度の生活さえできればそれで憲法は義務を果たしたかという、そうではない。人間らしい働き方、働く喜びや充実感が得られるという働き方が求められています。『人間的な働き方を認めている』という意味での『働く権利』と理解するべきです」

では、その『権利』はどのように守られているのでしょうか。

「働く意思と能力を持っている人は国

に対して『働きたい、働くチャンスをくれ!』と言うことができる権利があるということです。でも、働けない人が裁判を起こせるかというところではありません。働く能力、意欲のある人に対しては労働の権利を実現できるような施策、仕組みを作らなければならないという国の責務を明らかにしたものです。不当に解雇されるということなどが無いような施策を国が作るということです。国は権利が具体化できるような仕組みを作らなければならない。その趣旨から、労働基準法や男女雇用機会均等法、最低賃金法などが定められています」

「今の働く現場の状況から、最低賃金の額を変えて時給1,000円にしようなどの議論が国会で行われています。この議論も憲法上の『働く権利』からの要請と理解するべきです。今の額では低すぎるのではない、だから法律改正しようというのも働く権利の一端だからです。男女雇用機会均等法もそうです。男女差別があるのは当たり前という時代から差別はいけないという認識になって法律がで

きました。『働く権利』の内容がだんだん充実してきたといえます」

最後に、『働く権利』を充実させるなかで、女性と仕事の未来館の紹介をお願いします。

「働く女性、働きたい女性を支援し、働く女性のキャリアアップを図るという国の機関はこの未来館だけです。ということで、一番急務のなことをしなければいけないと思っています。働く女性をリードしていく立場を踏まえた事業に取り組んでいこうと考えています。もちろん、男性の皆さんにも利用していただける施設ですので、ご来館をお待ちしています」

渥美館長ありがとうございました。文字通り、先人たちの汗と涙の積み重ねで創られてきた『働く権利』。憲法の理想と現実のはざまに立ったとき、あなたは「理想」を捨てることができますか？

※憲法第27条第1項「すべて国民は、勤労の権利を有し、義務を負ふ」

## こころの風景

## 小山町のクスリヤ

(トーホー薬局) ～腰掛けて処方箋などお話を～

三田1丁目の銀杏稲荷大明神の並び、煉瓦造りの歴史的な建物のクスリヤさんで、お昼休みのひと時を過ごしました。

薬剤師の有沢恵美子さんは、先代のご両親から受け継いでいる「宝もの」に腰掛けて、お茶を勧めてくださいました。創業以来70年もの間、地域の老若男女を元気づけてきた「馴染みの椅子」。「昔から、ここに座って銀杏にかぶれて薬を求める親子やご近所の年寄りたちと共にお話をするんですよ」とニコリ。その瞬間、都電の走るあの頃に戻ったかのような、どこか懐かしく、とても幸せな気持ちになりました。

地域コミュニケーションや地元でふれあう環境が薄れてゆき、コンビニでの買い物が主流になる中、目には見えないけれども人と人をつなぐ大切な温もりがこの椅子には宿っているような…そんな気がします。

再開発により、どんなに都市化が進んでも、これからもさまざまな思い出を刻みながらこの椅子はまちの心の中で生き続けることでしょう。そして、こんな「心で見た風景」をいつまでもずっと大切に、地域のみんなと一緒に残していくのではありませんか。(中原晃治)



クスリヤの前を走る都電と街並み  
～昭和30年頃～  
(提供 佐藤翠陽撮影)



写真  
募集

芝地区「心の風景」  
TEL 03-3578-3191  
芝・地区政策課まで



児童館は“学校や年代を超えた交流の場”です！

去る3月22日(木)、芝地区のとある場所でパワフルなライブが行われました。

出演は、『芝公園児童館』と『赤坂子ども中高生プラザ』で活動している高校生の4バンド。芝公園児童館からは、芝地区管内の私立高校に通う1年生男子4人組バンドと、同じく1年生女子5人組バンドの2つです。

開始直前、ソロソロットと小さなお客さんの一団が客席に。

ここは、芝公園児童館遊戯室。小さなお客さんは学童クラブの小学生、児童館ライブならではの光景です。

大音響だけど大丈夫か…と思いきや、ちゃんと座って聞き入っています?! テレビから流れる音楽とは違って、ガンガンと身体に響いてくる生の演奏に「おおカッコイイ!!」。お兄さんお姉さんの一生懸命な演奏とライブ感を身体で感じて、貴重な体験をしています。

「今日は来てくれてアリガトウ!!」とトップを切って登場した芝地区の男子4人組バンド。「中高一貫ですけど、高校で知り合ってバンド組みました。今日は急遽来てもらったメンバーがいるので…」と不安そうでしたが、本番ではバッチリ。「児童館で練習できることは先輩から聞いて」というこの学校では歴代のバンドマン



たちが芝公園児童館で練習してきたそうです。ラストに登場した女子5人組は、結成間もない、との紹介でしたがMC(曲と曲の間でのおしゃべり)では一番観客の心をつかみ、演奏も他の出演バンドから驚かれるくらいの腕前でした。「児童館から誘われて出ました。部活(軽音楽部)でも練習しています」。なるほど。終了後には4バンドと児童館で反省会を行い、次回に向けての修正点を確認しました。バンド同士の情報交換も行われ、学校や年代を超えた交流ができたイベントでした。

次回は8月28日(火)『赤坂子ども中高生プラザ』で開催予定。パワー溢れるライブを見に来てください!

芝公園児童館  
芝公園2-7-3  
TEL 03-3433-6515

SPRING  
LIVE  
2007

港区からののお知らせ

ぜひ、ご利用ください!!

証明書自動交付機サービス



転勤や引越しの諸手続きなどで、窓口が大変混雑をしてご迷惑をおかけしています。午前中が比較的空いています。自動交付機では、住民票と印鑑登録証明書、港区に本籍地のある方の戸籍全部・個人事項証明書(戸籍謄本・抄本)が取得でき、窓口より手数料が50円安くなっています。

平日は、午前8時30分から午後9時まで、休日は午前9時から午後5時までご利用できます。

自動交付機のご利用には、事前の手続きが必要です。  
【お問い合わせ】みなとコール TEL 03-5472-3710(本頁下段参照)

『家具転倒防止器具等助成』のご案内

大地震はいつどこで起きてもおかしくないといわれています。地震に対する備えは十分でしょうか。

港区では、区内に住所があり、ご自分の住まいに家具転倒防止対策をしようとしている世帯に対し、家具転倒防止器具等の現物助成を実施しています。また、高齢者・障害者などで、自力での取付けが困難な世帯には器具の取付け支援も行います。

ポイント制となっていますので、家具転倒防止器具等一覧の中から、ご自宅の防災対策に必要な器具などを合計50ポイント以内で選択することができます。

家具転倒防止器具「マグニチュード7」2本セット。  
色はほかにアイボリーがあります



お申し込みは各地区、地区活動推進課 活動推進係まで。  
【お問い合わせ】みなとコール TEL 03-5472-3710(本頁下段参照)

虎ノ門健康福祉館・虎ノ門高齢者在宅サービスセンター  
愛称「とらトピア」6月1日(金)オープン!!

環状二号線の再開発事業に伴い建設が進んでいた虎ノ門健康福祉館と虎ノ門高齢者在宅サービスセンター「とらトピア」が、6月1日(金)にオープンします。

元気な方から介護を必要とされる方まで、高齢者の皆さんがそれぞれの目的に応じてご利用になれます。また虎ノ門地域の皆さんの健康づくりや交流、地域コミュニティ活動などの拠点を目指していきます。

虎ノ門健康福祉館では、これまで桜福社会館・西桜福社会館で行ってきた福祉会館事業に加えて、介護予防や健康づくり事業を行います。地域の皆さんに幅広くご参加いただけるような事業を行い、皆さんが楽しみながらいきいきとした生活を送れるようお手伝いをいたします。

虎ノ門高齢者在宅サービスセンターでは、介護保険で要支援・要介護の認定を受けられた方が“その人らしく”住み慣れた地域の中で暮らせることを目標に、日常生活のお世話や多彩な機能訓練を提供します。



|       |      |                                     |
|-------|------|-------------------------------------|
| 施設の概要 | 所在地  | 港区虎ノ門1丁目21番10号                      |
|       | 各階概要 | 1・2階 健康福祉館(ロビー、敬老・音楽教養室、トレーニングルーム等) |
|       | 3階   | 高齢者在宅サービスセンター(デイルーム等)               |

【お問い合わせ】虎ノ門健康福祉館 TEL 03-3539-2941  
虎ノ門高齢者在宅サービスセンター TEL 03-3539-3710

今年“区立芝公園”で開催

ふれ愛まつりだ、芝地区!

リニューアルオープンした区立芝公園で、9月8日(土)に「ふれ愛まつりだ、芝地区!」を開催する予定です。地域ふれ愛コンサートやゲストをお招きしてのコンサートの二部構成で行います。朝市など出店も盛りだくさんです。

生まれ変わった交番  
『地域安全センター』誕生

平成19年4月1日、「芝園橋交番」が「芝園橋地域安全センター」(芝3-4-10)に生まれ変わりました。地域安全センターは、事件・事故などの通報先としての機能のほか地域安全活動の拠点や各種ボランティアグループなどの交流場所として、警察官OBである「地域安全サポーター」が勤務しています。サポーターの目印は、ライトブルーの帽子とネクタイ。知識と経験を活かして、地域の皆さんの安全・平穏な生活のための活動を行っています。

地域安全センターでは、テレビ対話システムなどで同センターを管轄する警察署へすぐ連絡が取れるようになっています。昼夜を問わず、警察官が随時立ち寄り、周辺のパトロールを強化するなど、地域の治安向上のために役割を果たしています。

- ・防犯等の相談事に関するアドバイス
- ・子どもの安全確保への支援
- ・各種会合及びボランティア活動への参加
- ・自治体、関係協力団体等との連携
- ・事件・事故発生時の通報
- ・各種情報の提供
- ・地理案内

地域安全サポーターの活動



ライトブルーの帽子とネクタイが目印です。  
地域の皆さんの安全を守るための活動を行っています!

警視庁犯罪被害者  
ホットライン

被害者や家族の相談窓口です。

迷わずに  
勇気を出して  
相談してください



TEL 03-3597-7830  
FAX 03-3592-6840

愛宕警察署

匿名でもOK  
秘密厳守  
お気軽に

芝・麻布税務署からのお知らせ

次に掲げる地域における国税に関する取り扱いは、これまで麻布税務署が管轄していましたが、平成19年7月1日から芝税務署の管轄となります。

虎ノ門2丁目 1番・2番・10番

なお、今回の変更に伴う届出などの手続きは必要ありません。皆様のご理解とご協力をお願いします。

【問い合わせ先】

芝税務署：〒108-8401 芝5-8-1 TEL 03-3455-0551(代表)  
麻布税務署：〒106-8630 西麻布3-3-5 TEL 03-3403-0591(代表)

芝地区編集委員

地域情報誌作成に芝会議のメンバーが参加しています。  
中原晃治／渡辺芳子／桑原庸嘉子／佐多直明

芝地区地域情報誌の配布について

芝地区総合支所【芝、海岸1丁目、東新橋、新橋、西新橋、三田1～3丁目、浜松町、芝大門、芝公園、虎ノ門、愛宕】内の地域の方にお届けしているほか、地区内各施設にて配布しています。

「みなとコール」は暮らしの疑問にまとめてお答えします!

区役所のサービスや施設案内、催し情報など、お気軽にお問い合わせください。  
年中無休／午前7時～午後11時  
※英語での対応もいたします。

ゴヨウ(は)ナーニ ミナト(コールです)  
TEL 03-5472-3710  
FAX 03-5777-8752  
Eメール: info@minato.call-center.jp

港区芝地区総合支所地区政策課

所在地：〒105-8511 東京都港区芝公園1丁目5番25号(港区役所2階)  
TEL: 03-3578-3191 FAX: 03-3578-3180  
ホームページ: http://www.city.minato.tokyo.jp/sisyo/siba/



芝エリアを歩く

★印の場所が本誌の記事に登場しています。